

(共同リリース)

2023年12月13日

JALとJTBがSAFをはじめとしたサステナビリティを学ぶ 学校向け教育プログラムを共同開発

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:赤坂祐二、以下「JAL」と)と、株式会社JTB(本社:東京都品川区、代表取締役社長執行役員:山北栄二郎、以下「JTB」)は、修学旅行で国際線を利用する教育団体を対象に、SAF^(*1)をはじめとしたサステナビリティを学ぶ学校向け教育プログラムを共同開発し2024年度から販売を開始します。

教育プログラムは、修学旅行前の旅マエに、SAFなど脱炭素に関する基礎知識を習得できるJALとJTBの特別講義を実施します。旅ナカでは、修学旅行で搭乗する航空機から排出される二酸化炭素の一部をSAFにより削減し、帰国後の旅アトでは、証書を付与します。

■ 企画の背景

両社は2050年までにCO₂排出量実質ゼロの目標を掲げ、JALでは、省燃費機材への更新、運航の工夫、SAFの活用などの取り組みを推進し、JTBグループではCO₂削減に貢献するサービス「CO₂ゼロ旅行®」「CO₂ゼロMICE®」を推進しています。

ツーリズム産業におけるサステナビリティを推進している両社が、より一層の推進を図るため、双方が持つ知見を活かし、旅行を通じて持続可能な社会の実現とそのための環境維持・創出を学生たちに伝え、サステナビリティへの意識の醸成を図ることに合意し共同開発を行うことになりました。

将来を担う学生が、2050年カーボンニュートラルを実現するために、自ら考え行動に繋げる機会を提供することで、サステナビリティ推進の取り組みを支援してまいります。

■ プログラム概要

<旅マエ>

- ・JAL・JTBによる特別講義

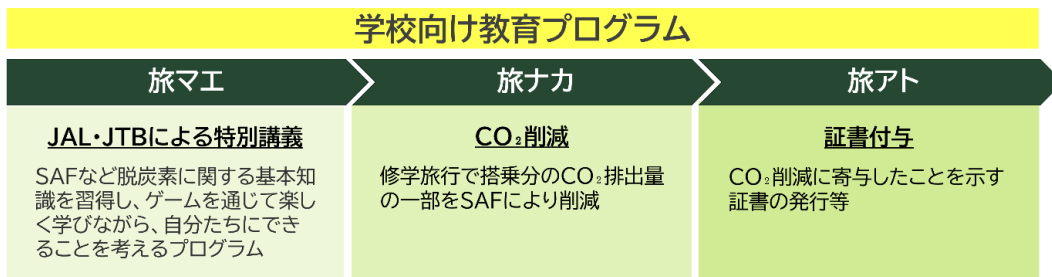
ゲームを通じてSAFなど脱炭素に関する基本知識を習得し、楽しく学びながら考えるプログラム

<旅ナカ>

- ・修学旅行で搭乗する航空機から排出される二酸化炭素の一部をSAFにより削減

<旅アト>

- ・学校へ証書付与(1校につき1証書)



*旅マエ、旅ナカ、旅アトは旅行中の時間を示すもの

(*1)SAF(Sustainable Aviation Fuel):持続可能な航空燃料。原料の生産・調達から製造、輸送、燃焼までのライフサイクルで、従来のジェット燃料比でCO₂排出量を平均80%削減可能とされる。

以上